

実践『ペルソナ』通信 (No. 66)
「化粧水」に関する調査結果～女子大生 100 人に聞いた「化粧水に求める価値」 *Ranking*～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、女子大学生を対象に、「化粧水に求める価値」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 100 サンプルでした。

その結果をランキング形式で、1位から 10 位までを発表します。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「マーケティング（担当：斎藤明）」、「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、の 3 つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

女子大生 100 人に聞いた「化粧水に求める価値」ランキング

1	保湿	39 票
2	価格	22 票
3	美白	11 票
4	自分の肌に合っているかどうか	9 票
5	ニキビケア	6 票
6	口コミ	5 票
7	浸透力	2 票
7	香り	2 票
7	仕上がり	2 票
7	パッケージ	2 票

（全体的な傾向を書く）今回の調査結果から女子大学生は化粧水を購入する際に、保湿力を重視していることが大多数であることがわかった。また他には価格が安く、機能性に優れているものを好んでおり、B面の調査結果同様、気兼ねなくたくさん使えることが化粧水を購入する際にもっとも重視しているポイントだといえる。また意外にも口コミや香り、パッケージなどを購入する際に重視している人は少ないこともわかった。今回は女子大生に調査をしたが、ターゲット層を 30 代や 40 代に変えるとまた違う結果になったであろう。年齢が上がっていくごとに肌に気を使うため、価格ではなくエイジングケアや価格が高めのホワイトニング化粧水などが上位にくるのではないだろうか。女子大生の化粧水への価値観は、普段人に見られるものではないため、高いものを所有している満足感ではなく、「機能性」「価格」この二つが満たされている商品が女子大生からは好まれていると推測ができた。

(1) 1位：「保湿」。

堂々の第一位は保湿力である。女性にとって感想やカサつきは大敵であり、一年中保湿は欠かせない。とくに冬場はひどく乾燥するため化粧水が重要な役割を果たす。そのため、購入の際にもっとも重視している人が多いのだろう。ヒアルロン産や、セラミドなどの配合成分を気にするという回答も見られたため、美意識の高い女子大生は、成分表をチェックすることで購入していることもわかった。

2位：「価格」。

第二位は価格である。女子大生にとって値段が安い商品は手に取りやすく、気兼ねなく使えることが嬉しいポイントである。「ハトムギ」や「無印良品」などは、1000円以下での購入が可能であるため、大学生には嬉しい商品だ。また価格の安い商品はドラッグストアなどで簡単に購入できるため人気であることが考えられる。

(3) 3位：「美白」。

第三位は美白。女子の誰もが憧れる白い肌は、化粧水を購入する際の大事な要素だといえる。近年ではシミやくすみを和らげる効果のある商品も出ており、美白成分が配合されているものは女子大生からの人気を得ている。美白化粧水を使用することで、本来の肌の色以上に白くする効果を期待しているのであろう。

(4) 4位：「自分の肌に合っているもの」。

意外にも自分の肌に合っているものと回答した人は少なかった。具体的に回答してくれた人の中には低刺激であることや、敏感肌であるからヒリヒリしないなどの、肌への安全性を重視している人がいた。化粧水が肌に合わない場合、赤くなってしまい炎症を起こし新しいシミを作り出す原因になってしまうといわれている。特に肌が弱い方は、お試しセットやサンプルを使用し、自分に合う化粧水を見つけているのではないだろうか。

(5) 5位：「ニキビケア」。

ニキビが治らない場合には洗顔料や、化粧水を見直す人が多い。さらに肌トラブルを起こさないためにも化粧水選びは重要である。大人ニキビ専用の化粧水を発売しているメーカーも多数あり、ニキビなどの深刻な肌トラブルの際には、信頼できるブランド・メーカーに惹かれ購入する人が多い傾向があると考えられる。

(6) 6位：「口コミ」。

意外なことに口コミは第六位であった。化粧品を購入する際は口コミを見る人が多いが、化粧水購入の際はあまり重視していないみたいだ。

(7) 7位：「浸透力」。

肌は表面だけが潤っていても意味がなく、肌の奥に浸透することで効果は得られるため、浸透力は大事なポイントであろう。意外にも浸透力を重視している人はかなり少ない結果であった。だが化粧水を購入する際、「浸透力」はとても大事なポイントであり、肌荒れや加齢などで化粧水の有効成分は浸透しにくくなるという。調査対象である女子大生はまだ肌に悩む年齢ではないため、浸透力の順位は低いという結果になった。

(8) 7位：「仕上がり」。

少数だが仕上がり、肌触りを重視している人もいた。回答者の中には、さらさらしていてベタつかないものという意見があがっていた。特に化粧をしている上から使用するミストタイプの化粧水などは仕上がりを気にするであろう。

(9) 7位：「香り」。

化粧水に匂いを重視している人は少なく、やはり機能性を重視していることがわかる。ボディクリームなどを購入する際は、匂いを重視する人が大半である。スキンケアとボディケアでは、重視するポイントが違うことがわかった。

(10) 7位：「デザイン」。

女子大生に人気である化粧品ブランドでは、可愛らしいデザインの化粧水が販売されているが、特に購買にデザインは関係していないようだ。だが、ディズニーやハローキティとボトルをコラボしているメーカーもある。女子大生の化粧水の購買にデザイン関係していないが、高校生や中学生からは人気であるかもしれないという推測ができる。

(11) ランキング圏外。

(面白かった回答を書く) 他には「使用方法が楽」「特にない」などの回答があがっていた。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：女子大学生
2. 調査方法：アンケート調査
3. 調査期間：2017年12月～2018年1月
4. 有効回答者数：100人

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会
3年 渡邊春香